

# ミイラ博物館 Mummification Museum

ルクソール神殿のすぐそば、ナイル川岸。



1997年5月にオープンした新しい博物館。貴族のミイラのほか、ヒヒのミイラ、猫のミイラなど、よそではあまり見ることのない珍しいミイラが並んでいる。ミイラを作る道具も展示され、古代のミイラ作りの様子がうかがえる。清潔な館内、整然とした展示には目を見張るものがあり、ルクソール市内を散策するときにぜひ寄ってみたい。街の中心街に近いナイル川ほとりにあり、アクセスも便利。

## ミイラ作りの道具

ミイラを作るときは、遺体が腐敗しないよう、とにかく乾燥させなければならない。脳みそや内臓などを体内から取り出したら、遺体を「重炭酸ソーダ」で包んで水分を取り除く。乾いたら体内には樹脂や亜麻布を詰め、さらに表面に樹脂を塗る。最後に包帯でぐるぐる巻きにしてできあがり。これらの作業には、約70日かかったと言われている。



脳みそを鼻の穴からかき出すための道具。



ナイフ。  
遺体の脇腹を切って、内臓を取り出す。

重炭酸ソーダで遺体から水分を取り除き、体内に詰め物をする。



カノプス  
取り出した内臓は、この容器の中に収めておく。

包帯をぐるぐる巻き付けると巻き付ける。

写真はいずれも「ミイラ博物館」の展示品



ネコのミイラ